

シリーズ  
水辺の鳥たち  
〈アオゲラ〉

樹にコツコツ穴を開けているのはアオゲラ、そう、この鳥はキツツキの仲間です。日本固有種で、繁殖期は5月～7月。しかし通常見られるのは里山か大きな公園で、白子川では珍しい野鳥です。撮影したのは井頭橋附近。全長29cmくらいのきれいな鳥ですから、散歩の折にでも探してみてください。

(2023年5月2日撮影：水野勉)



## 住民参加の政治って？

## ～画期的な岡崎市の事例～

ずっと気になっていること、それは「住民（市民）参加」のあり方なのですが、自治体を調べていくうちに驚くべき先進事例にたどり着きました。ご紹介します。

愛知県岡崎市の市民参加型ポータルサイト。市がこれからも発展を続けるためには、合意形成プロセスにおいて、さらなる市民参加を推進し、市民に共感や納得感を持ってもらえる市政運営を行うことが重要であるとし、検討及び構想段階から市民に向けて情報を発信したうで、多様な意見を聴き、計画の策定や事業の推進を図っていくと

して、この仕組みを「市民参加型市政」と定義しています。

最大の特徴は、計画や事業がスタートする前から、各担当部署ではどのような課題や悩みを抱えていて、それを解決するための道筋や手段として、どのような計画や事業の推進を考えているかを「課題説明シート」として公開することとし、また、実際に計画や事業の検討がスタートする際には、「市民参加プロセス計画書」を作成して、そもそもなぜこの計画や事業が必要なのか、どのタイミングで・どのような目的で・どのような市民に向けて・どのような市民参加手法を実践するのかを公開することとしています。

例えば「生物多様性おかさぎ戦略」についての「課題説明シート」では、

〈課題と抱える事業、課題の概要、解決の手段・道筋、担当部署名、電話番号〉が詳細に示され、「市民参加プロセス計画書」では、〈「検討段階」「構想段階」「計画段階」ごとに、何についてどこまで合意したいか、市民参加の手法、聴取したい情報〉が具体的に示されます。

計画書のラストに、パブリックコメントの進め方が書かれているのですが、なんと、このパブコメのはるか1年6か月前の「検討段階」から公開されるということですから衝撃です。ぜひ同市のサイト「岡崎市の市民参加型ポータルサイト」で検索を。

さて、私たちの練馬区。この方向にカジをきってほしいと切に望みます。

(菅沢博)

# いま源流界隈では、どんなカエルに出会えるの？



「悠然として 山を見る 蛙哉」は、小林一茶（1763-1827）の一句。自然と人の一体感さえ感じられて、実に妙です。

蛙が山を見ていたのはなぜ？はさておき、一茶が見た光景を確かめるために、信州へ行ってみたいくなりませんか？ いいえ、白子川源流あたりには、今も棲み続ける様々な蛙たちがいます！ もしそんな現に今を生きる蛙に出会えたら、ワクワクしませんか。一生の実体験として心に残ること請け合い（?!）です。

会が確認しているカエルの種類は、

- ① アズマヒキガエル [VU]
- ② トウキョウダルマガエル [CR]
- ③ ニホンアマガエル（雨蛙） [EN]
- ④ シュレーゲルアオガエル（青蛙） [CR]
- ⑤ ヤマアカガエル [・]

悲しいかな、すべて絶滅危惧種とされています。

今年、会が記録（筆者が遭遇）したカエル達の画像を中心に少しご紹介

介します。カエル探索の参考になれば幸いです。

3月6日（今年の「啓蟄」）夕方、七福橋のすぐ南側の路上でアズマヒキガエル（写真1）に遭遇。

3月24日の白子川源流部、雄雌ペアで水中を移動するアズマヒキガエル（写真2）。通り掛りにふと水辺を覗き込む老婦人「こんなの初めて見ました」と。翌日、近くの水草に絡む紐状の卵（写真3）を発見。

同じ場所で4月2日、オタマ

ジャクシ（写真4）を確認。なお今春、源流部の水辺4か所と私たちの設置したカエル池でアズマヒキガエルの産卵を確認した。

6月3日、井頭池でトウキョウダルマガエル（写真5）が合唱、鳴のうを膨らませて、グゲゲゲ、グゲ…と。時折、傍らで、リリリリリ…と、違う声はシュレーゲルアオガエル（写真6）。（伊東尚武）



\* VU：絶滅危惧II類 / CR：絶滅危惧IA類 / EN：絶滅危惧IB類 / 「・」：非分布（東京都環境局「東京都レッドデータブック2023」より）

## 定例活動報告 〈2023年4月～2023年7月〉

日時 〈調査開始時間〉	天気	気温 (°C)	源流部 流速 (km/h)	源流部 流量 (L/秒)	調査地点	水温 (°C)	水深 (cm)	pH	COD (mg/L)	収集ゴミ 90L (袋)	参加 会員数 (名)	
2023/4/23 (13:45)	晴	26.5	0.072	20.4	源流部	-	0	-	-	可燃ゴミ 18袋	16	井頭橋にポスターを掲 加があった。参加され ランティアセンターの絶 穂摘み、地上部では植
					井頭橋	15.5	4	7.49	6	不燃ゴミ 1袋		
					井頭～火の橋中間	16.9	22	6.62	2	剪定枝束 7束		
2023/5/28 (13:45)	曇	26	0.115	34.3	源流部	-	0	-	-	可燃ゴミ 1袋	14	ボランティアセンター絶 市民参加が一層広がり、 わくパークから来られ わってくれた。ザリガニ
					井頭橋	20.9	7	6.89	2	不燃ゴミ 0袋		
					井頭～火の橋中間	19.2	24	6.63	2	草束 35束		
2023/6/25 (13:30)	晴	29	0.28	109.3	源流部	17.9	12	6.40	2	可燃ゴミ 12袋	16	暑さにもめげずにこの日 んが多数。親子参加とく て生き物を探す姿が微笑
					井頭橋	19.3	14	6.45	2	不燃ゴミ 2袋		
					井頭～火の橋中間	18.8	30	6.54	2	草束 15束		
2023/7/23 (13:30)	晴	34	0.18	55.1	源流部	-	0	-	-	可燃ゴミ 10袋	15	バラエティーに富んだ市 加した高校生も。生物館 附属中学生 11名が初め 広場にて行う。定例活動
					井頭橋	22.6	8	6.55	2	不燃ゴミ 1袋		
					井頭～火の橋中間	20.5	24	6.47	2	草束 6束		

※ CODとは、水の汚れを示す指標で、2は最低値できれいな水、4～6は少し汚れている、8以上は汚れている。当会では、低濃度簡易測定キットで判定している。 ※ pHとは、酸性とアル  
小さいと酸性 ※表の（-）は、水がなくて測定不能、（欠）は測定機器の不具合等で欠測の意 ◆水辺の会では、定例活動において水質調査とともに放射線測定（2ヶ所で10分ずつ、  
4月：0.08/0.08 5月：0.07/0.08 6月：0.06/0.06 7月：0.06/0.06 計測地は、源流部/井頭橋下（以前「元堰部」としていた場所に堰がなくなったので「井頭橋下」と表記）。

# 川を体感すると、何かが変わる！～小学生の川体験に思う～

川に入ると、童心に帰ったような不思議な感覚になります。普段、大人だから〇〇すべき、子どもだから〇〇すべきという思考にいかにかわられていることかと思ってしまうのです。川は、大人も子どもも区別しない。入りはじめは恐る恐るだった足元も、慣れてくると、その一步が大きくなり、生き物を探し捕まえる好奇心も沸いて、目がきらきらしてきます。周りで見ている人にも、そのわくわくが伝わって、好奇心や興奮、楽しさの循環が起こる気がします。

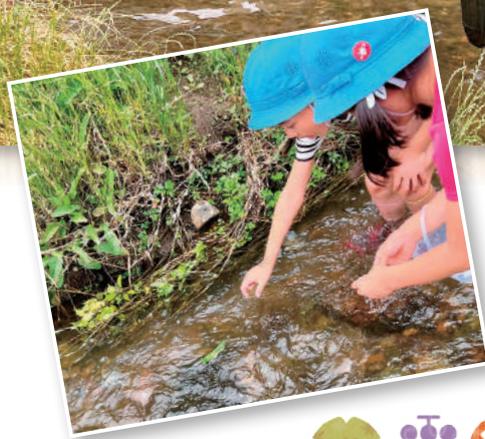
目の前の川の流れ、植物、生き物、石、そこに在るものに向き合う時間、これは正解のない時間だと思います。

例えば、今日は川に入れるのか、気温・水温（白子川は湧き水なので一年中一定ですが…）・水の量、すべて体感し自分（達）で決める、これは生きていく力そのものではないでしょうか。

川の授業で感じたこと・感動したことを胸に子どもたちは成長していくと思います。学校の先生方だけでなく、水辺の会の仲間たちに見守られ、支えられて生きていくことを、心のどこかで忘れないでほしいと思います。失敗していいから何度も

立ち上がって挑戦してほしい。大人たちもそのまた大人たちも、同じように大きくなってきたのだから。

(岩田麗子)



## カエルの鳴き声を HP にアップしました！



毎春、源流部で、水源である井頭憩いの森や井頭緑地で、そして、池のあるお宅の庭先で、カエルが鳴き始めます。このたび、源流部で録音した鳴き声を当会の HP にアップしたのでお聴きください。どんな種類のカエルの鳴き声かわかるかな!!!???

源流まつりの“白子川検定試験”で出題〈回答〉するのでお楽しみに！



## 主な活動・特記事項

示し、初めて市民参加を呼びかけたところ多くの参加者から後日入会してくれたご家族も現れた。ボランティアで3人の若者が参加。源流部ではウキヤガラの整備など。

紹介の若者や、会員の娘さんの保育園仲間を含め、川の中にいたのは総勢50名ほど。和光市のわくとSさんはウキヤガラをお持ち帰り。剪定作業に追加捕獲も大量。

最も多数の参加が。一般の市民参加といっても常連さんにお父さんの参加が多く、子どもと一緒に嬉々として楽しんでいる。取材に来たJ-COM クルーも川の中に。

市民参加のほか、HPを通じて連絡をくれて初めて参加を観察を研究テーマとし、ひときわ熱心に観察。学大で白子川学習に。竹炭焼き用の竹の伐採をみどり活動終了後、生活クラブ生協の水質調査に協力。

酸性を示す指数で、pH7が中性、7より大きいとアルカリ性、単位は $\mu S v / h$ ）も行っており、その結果は以下のとおり。

